

# LRQA独立保証声明書

## 豊田通商株式会社の統合レポート 2022 に掲載される 2021 年度環境・社会データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて豊田通商株式会社に対して作成されたものである。

### 保証業務の条件

LRQA リミテッド（以下、LRQA という）は、豊田通商株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、2021 年度<sup>1</sup>の統合レポート 2022 に掲載される会社の環境・社会データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000（改訂版）及び温室効果ガス（GHG）排出量については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社の日本国内および海外における運営及び活動<sup>2,3</sup>に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 会社の定める報告手順への適合性の検証
- 以下の指標に関するデータの正確性及び信頼性の評価

#### 環境

- 温室効果ガス排出量<sup>4</sup>
  - スコープ 1 GHG 排出量<sup>5</sup>（トン CO<sub>2</sub>e）
  - スコープ 2 GHG 排出量 [ロケーション基準、マーケット基準]（トン CO<sub>2</sub>e）
  - スコープ 3 GHG 排出量<sup>6</sup>（カテゴリー 2~8, 14）（トン CO<sub>2</sub>e）
- エネルギー使用量（MWh）
- 水使用量（m<sup>3</sup>）
- 廃棄物量（トン）

#### 社会

- 労働災害発生件数
- 休業災害度数率

LRQA の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及された第三者に関するデータ及び情報を除くものとする。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

### LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

<sup>1</sup> 環境データの集計期間は 2021 年 1 月 1 日～12 月 31 日、社会データの集計期間は 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日とする。

<sup>2</sup> スコープ 1、スコープ 2、スコープ 3 カテゴリー 2,3,14 GHG 排出量、エネルギー使用量及び水使用量は豊田通商株式会社、国内外連結子会社のみを対象範囲とする。また、スコープ 3 カテゴリー 4~8 GHG 排出量及び廃棄物量は、豊田通商株式会社、および国内連結子会社のみを対象とする。

<sup>3</sup> 労働災害発生件数、休業災害度数率は豊田通商及び国内外連結対象子会社（出資比率 50% 超）を対象範囲とする。

<sup>4</sup> GHG 排出量の算定は固有の不確かさを持つ。

<sup>5</sup> スコープ 1 GHG 排出量にはエネルギー起源及び非エネルギー起源が含まれる。非エネルギー起源 GHG の算定対象活動は 2006 IPCC Guideline を参照し、拠点単位、温室効果ガスの種類ごとに年間 3,000t-CO<sub>2</sub>e 以上排出しているものを報告している。

<sup>6</sup> スコープ 3 カテゴリー 4 は、国内法で報告が必要なグループ内企業の実績を集計している。

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できる環境データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準<sup>7</sup>、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

## 保証手続

LRQA の保証業務は、ISAE3000 (改訂版)と GHG 排出量については ISO14064-3:2019 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2021 年の環境・社会データに関する記録および情報の検証を行った。
- COVID-19 の世界的な感染拡大による会社の「訪問者の職場への入場制限」の実施により、データマネジメントシステムの運用状況を評価する為、Toyotsu Smelting Technology Mexico S.A. de C.V (TSTM 社) と第一石鹼株式会社について、e-mail 及び Zoom によるリモート検証を行った。

## 観察事項

各拠点からの報告値を収集・集計するにあたり、未入力箇所や対前年と比較して変動の大きいものの理由の確認による正確性・網羅性向上を期待する。

## 基準、適格性及び独立性

LRQAはISO14065 “温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17021-1 “適合性評価—マネジメントシステムの審査及び検証を行う機関に対する要求事項—第1部：要求事項”に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準<sup>1</sup>と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。

全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQAは会社の ISO 14001の認証機関である。また、LRQAは会社に対して、マネジメントシステムに関する様々なトレーニングサービスを提供している。検証・認証評価及びトレーニングは、LRQAが会社に対して行っている唯一の業務であり、これによりLRQAの独立性や公平性を損なうことはない。

署名

2022年7月5日

上野 一郎

上野 一郎

LRQA 主任検証人

LRQA リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LRQA reference: YKA4005591

<sup>7</sup> 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。



LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2022.